

# 病害虫発生予察情報

## 2 月月報

平成 30 年 3 月 19 日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2018 年 2 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	8.1	-1.7	-2.3	-1.5	2.9	-1.5	14.0	106	59.8	99
中旬	11.3	1.0	0.1	-1.3	5.2	0.1	0.0	0	83.6	140
下旬	10.1	-0.9	0.7	-1.0	5.5	-0.2	2.0	11	30.9	63
平均	9.8	-0.5	-0.5	-1.3	6.1	-0.5				
合計							16.0	29	174.3	103

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010 年の平均値）からの差（比）

#### <天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上旬は低く、中・下旬は平年並だった。
- ◎ 降 水 量：上旬は多く、中旬はかなり少なく、下旬は少なかった。
- ◎ 日照時間：上旬は少なく、中旬は多く、下旬は少なかった。

上旬：期間のはじめは本州の南海上を北東に進んだ低気圧の影響により雨や雪となり、2日に最深1センチを観測しました。その後は、冬型の気圧配置が続き、期間の終わりは移動性高気圧に覆われ、晴れの日が多くなった。

中旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

下旬：気圧の谷や湿った空気の影響により曇りや雨または雪の日が多くなった。

### 2 作物生育概況

#### （1）野菜類

果菜類：促成トマトは低温の影響で生育はやや遅れた。特に果実の着色の遅れが目立った。促成イチゴは概ね順調な生育であった。果菜類の苗の生育は概ね順調であった。

葉菜類：コマツナやハウレンソウは低温の影響で生育が遅れた。コマツナでは一部地域で抽苔が多い傾向であった。

### 3 病害虫の発生概況

#### （1）野菜の病害虫

##### トマト（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。

タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ (施設)		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ (施設、露地トンネル)		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ (施設)		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (2) 花きの病害虫 (施設)

### 花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

## (3) 島しょの病害虫

小笠原：マンゴーでカイガラムシ類の発生がやや多かった。また、トマトにおいてマメハモグリバエの発生がやや多かった。

三宅島：トマトにおいてトマトサビダニの発生が見られた。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

### 病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。